

K S K P

No. 14 パンジーだより

発行 1995年12月



石

編集 クリエイティブハウス  
“パンジー”

## スペイン村にて・・

例年のない猛暑が続きましたが、やっと終わってくれて、外の空気が気持ちいい季節になりました。

その暑い中、毎年恒例行事になった旅行に8月31日から9月1日にかけて行ってきました。場所は、「伊勢・志摩スペイン村」です。今年はガイドヘルパーの参加も増えて、なんと観光バス2台での、大移動の旅となりました。

さて旅行当日、朝からあいにくの雨模様となってしまう、なんとなくみんなの顔が「あーあ」という顔になってしまいました(でも、バスの中ではそんなこともおかまいなしに、カラオケ大会がくりひろげられていたのです)。

一晩明けて、メインのスペイン村に行く日はみごとに晴れてくれました。スペイン村に着いて、記念撮影をしてそれぞれの行きたいアトラクションへ!

生まれて初めて、急流滑りや、ジェットコースターに乗るといふ偉業をなしとげた人がいました。ふだん、車椅子なので「乗れるかなあ・・・」とちょっと心配しながら行ったのですが、係員の人は何事もないようにさっと抱えて乗せてしまったのです。ジェットコースターから出てきたその人の顔は、怖いというよりも「乗れた!」という勇ましい顔になっていました。

この他にもいろいろなエピソードが生まれたようで、大阪に帰ってしばらくたった今でも、話題になっています。そして、すでに来年のことまで話し合われているのです。さてさて、来年は、はたしてどこへ行くことになるのでしょうか。

ひょっとして、海外っていうことになるかもしれません。

(はま)

## 新製品開発をめざして



いまパン部門の課題は、新製品の開発とその新製品を現在の製造工程にどう組み入れるかである。しかしその作業が少し立ち後れている。

これは現在のパンの製造ラインにメンバーも職員も慣れ親しんでいるのだが、この製造ラインを捨て去れないことが理由である。新製品のパンの製造工程をのせると、現在のパンの製造ラインが崩れてしまうことになるのだ。そしてこの新製品の開発を遅らせているものいくつかの側面があるが、その要因の一つとして、パンジーのパン屋としてのあり方が関連している。それは一次的なものが授産施設であり、パン屋さんは二次的なものとして存在してしまっている。これがパンで生計をたてているパン屋さんにはない甘さを作り出しているのだろう。

福祉施設が授産の取り組みとしてパンを焼いている。事実そうなのだけれども、そこを越えたところを目指さないと、日常が色あせ、つまらないものになっていくことだろう。一番大切なことだが「パンジーのパン飽きてきた」といわれないために、いまは新たなメニュー作りが必要となっている。 (おおきた)

## パンジーのニューフェイス 芸術作品はいかが

クリエイティブ部門では、メンバーが楽しみながら、それぞれの個性をいかした、クリエイティブな製品作りができればいいなあと考えています。

さをり織りは、メンバーの腕も上がってきて、ただ好きな糸で織っていく(それはそれですごくおもしろいけど)だけでなく、織り方に工夫をしたり、色使いや、模様に使ったりと、洗練された作品ができてきました。陶芸も、焼きあがってびっくり! ウン十万円の値段がついてもおかしくないような(???)すばらしい芸術作品が、たまーにできるのデス。

こうしてできたパンジーの製品を販売する機会をもっと増やそうと、これから、フリーマーケットや大学祭などにどんどん出品しようと考えています。(たき)



## 鬼がわらう……

はい「わくわく」です。今回でパンジーだより  
に文章をのせるのは3回目です。前は「どらえも  
ん会の下請けをしてる」という話をしましたが、会  
議の下準備——議題の用意・進行の計画もそのひと  
つ。当面の「どら会」の議題はというと、最近、  
メンバーの入れ替わりのせいで「どら会役員」に欠  
員がでて、また選挙で新役員をきめることになりま  
した。それがまずひとつ。



もうひとつは来年の「夏の旅行」の行き先をきめること。ちょっと早いけど、  
もうすでに何か所か候補地があります。(やる気まんまんでしょ?)

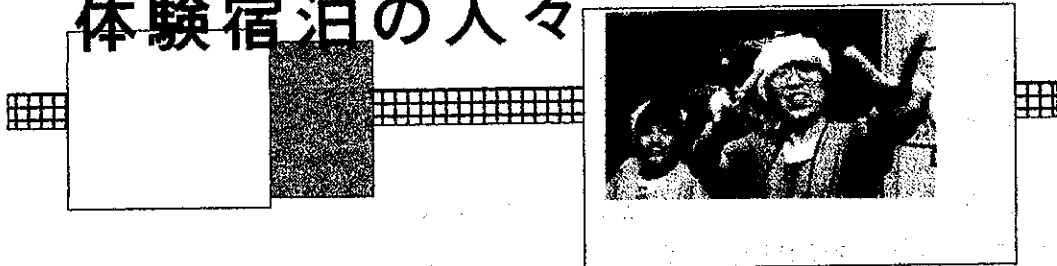
さて、どこかというと……ないじゃないしょ。(ゆきこ)

## 涙とスパイスつきのお昼ごはんづくり

前は、メニューづくりを紹介しましたが、今回は、献立を調理する厨房のよ  
うすをお知らせしようと思います。

4月以降、厨房はレギュラー職員とメンバー、パート職員とボランティアさん、  
一人ずつが毎日日替わりで応援してくれています。メンバーの保護者である人々  
とは、野菜を刻みながらの苦労話に共感しあい、食器を洗いながら披露する失敗  
談に笑いころげるなど、涙と笑いのスパイス付きのお昼ごはん作りをしています。  
最近ではメンバーや職員希望の実習生も多く、50名前後のLサイズの若者たちが  
12時のランチタイムに集うパンジーのホールは、ただただ、壮観の一語につき  
る光景です。(河野)

## 体験宿泊の人々



去年の夏スタートした体験宿泊も1年3か月が過ぎ、メンバーも定着してきました。

いつも介護者と一緒に外遊する人(ガハハと笑い、女の人に“遊んで〜”とせがむ彼)。グループホームでみんなといっしょに泊まりたくて、グループホームにおしかけて来る人(しつもんが得意な彼)。ベットが好きで、鼻歌をよく歌う人(一切れの布をよく忘れていく彼)。部屋から部屋へと歩き回る人(せまくて飛べないもんね)。世話女房タイプの人(よくグループホームに電話をくれる彼女)。いつも、恋している人(よくふくれたり泣いたりする彼女)。

来年の春、新しいグループホームができれば、もっと体験宿泊のメンバーが増えると思います。そして、今のメンバーはみんな先輩になるんだなあ。

(さとこ)

麻生み.ヒカリの

グループホームの

これからのグループホームも、もっと楽しくしていきたい。けど、女の子もふやしていけたらいいと思う。

女の子のグループホームができればしたいことは、ワープロとかがしたいけど、かいごしゃももっとたくさんふやしていけたらいいとおもいます。

自分がいまよりも、もっといい人にかわっていけたらいいのになあとおもいます。ふくちゃんとか、とみやんとかにも、やさしい人間になってくれたら、いうことなしなのになあとおもってます。

パンジーでおもうことは、しごとはしづかにしてほしいとおもっています。

これからのゆめは、太一とかまさやのきもちがわかるようになりたいとおもっています。

## みんなの笑顔がいちばん

ショップ“パンジー”も、オープンから6か月、「レジはお任せ」とA君。焼きたてパンがおいしいというA客さん。相棒をたいへん気遣うB君。ふぞろいの雑貨の中から掘り出し物を見つけるのが楽しいというB客さん。ショップに飾るお花をいつも気にかけてくれるCさん。コーヒーの味がおいしいというC客さん。

さりげなくとても気のつくD子さん。メンバーの作った商品を見てやたら感心するD客さん。うっかりやの私の計算の手伝いをするのが大好きなEくん。なにげなく飛び込みのE客さん。にまにまとして“コーヒー、コーヒー”とコーヒー大好きなFくん。家の中の不要品（もちろん新品）を持ち込み売ってほしいというF客さん。ひたすらまじめ(?)なミセスYさんと……

とても色とりどり、そしてみんなの笑顔がいちばん。これからもより多くの人々との出会いの場になればいいのになあ。

(K. I)

追記 いつも商品を提供して下さる方々、ほんとうにありがとうございます。  
また、お店に置く商品をつのっています。ご協力お願いいたします。

### 新人紹介パート1

#### 久保 祐子

4月からメンバーに仲間入りしました。  
 メンバーの中で一番ちっちゃい体ですが、  
 毎朝元気に「祐子スマイル」で仕事に出かけます。  
 パン屋さん、クリエイティブ、ショップの当番、  
 楽しい毎日です。(母 代筆)



#### 岡本 智

Q:好きなことは?

A:スポーツをテレビで見ること。野球とかおすもうとか。

Q:どんな仕事してる?

A:パン屋、(ハンガーの)ゴムをはめる仕事。

Q:これからどんなことをしたい?

A:親と離れて自立したい。ディズニーランドに行きたい!



どらえもん会

# 志摩スペイン村にいったぞ!



8月31日・9月1日の2日間、“パンジー夏旅行「志摩スペイン村」”がありました。参加したメンバーに感想を聞いてみると……



あつかったのしんどかった。おかあさんにおみやげをかった。たのしかった。



(くぼ)

おもしろかった。いしざきさんといっしょにいて、たのしかった。(ほりかわ)

よる、とみやんと、いくさんと、あおやまさんとトランプした。メリーゴーランドにのった。パスポートケースをかいました。



(ふくだ)

おもしろかった。ジェットコースターはやっぱりこわかったけど、またのってみたい。おもしろかった。very goodです。



(うめはら)





ひらいし、のぼた、はだせといっしょにビール15本のんだ。もっとのんでる  
 かもしれへん。りょうりもうまかった。もっといかなあかなあ。 (いくた)



たのしかった。ごはんがうれしかったなあ、いろいろなものがでて。 (とみた)

バスの中のカラオケがたのしかった。きしゃとかいぞくせんにとった。おもしろ  
 かった。 (にしだ)



たのしかった(笑)。おふろがひろくてプールみたいだった(笑)。スナック  
 にお酒のみにいった(笑)。服かった。 (にしお)



とってもたのしかった。よる、みんなでカラオケをした。「かんぱい」「きぶ  
 んそうかい」とかうたった。おふろがひろくてきもちよかった。 (ひらかわ)



☆「どらえもん会」はパンジーのメンバー全員で構成する当事者自治組織です。

近刊『わたしのせいじゃない』に  
(岩崎書店・1995年11月刊行予定)  
関する早々としたメッセージ

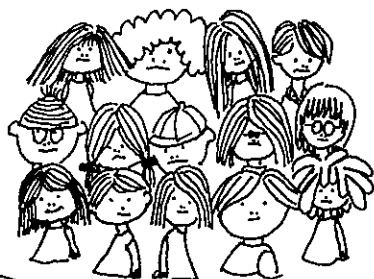
ハンディキャップにいかに対応するかに関する  
スウェーデンの教科書にみる事例研究 その1

大阪教育大学 教授 二文字理明

『わたしのせいじゃない』という絵本(学校での副読本でもあります)が近々に日本でも出版されることになりました。サブタイトルは「責任について」とあります。ある、ひとりの子どもが泣いている場面に、周囲の子どもが順番に「異なった対応のことば」を発していくという内容です。その後には世界で確実に起きている悲惨な現実の数々が写真で呈示されます。子どもたちへの問題提起の書

であります。いわゆる「いじめ」がテーマであります。ハンディキャップのある子どもは「いじめられ子ども」という典型的な事例でありましよう。

ここでは、この「わたしのせいじゃない」という絵本がスウェーデンの学校教育のもつ思想的系列を背景に生み出されたものであること。したがって、この本にみられる考え方、思想は、スウェーデンの教科書には共通する基礎であることを知っていただけたら幸いです。それについて若干の駄文を連ねることをお許し下さい。



が、このやすみかんに  
あったことだけじゃ  
わたしのせいじゃないわ

日本では、社会科・道徳の教科を中心に、いわゆる福祉副読本などを使用し、「福祉教育」が行われつつあります。スウェーデンの場合は「オリエンテーリング科」という教科(理科系の教科群と社会科系の教科群を合体したもの)において「市民を育成する」というねらいをもった内容が設定されています。

福祉教育と日本で呼称しているものは、欧米におけるいわゆる「市民教育=citizenship education」に包括されるもの、また、そうあるべきものと私は理解しています。市民としていかなる資質を求められるかによって、その国の「福祉教育」の内実が決定されると考えることができます。この観点に立てば、日本の場合は、社会的「弱者」として例えば、「高齢者」「ハンディキャップのある人」などを規定し、これを「救済」という構図で成立しているのではないでしょう



これに対して、スウェーデンの場合は「平等」な社会を志向し、構築しながら、その主体としての「市民」として「いかに行動すべきか」が基本的精神となっていると感じられます。

スウェーデンの教育課程(カリキュラム)には「オリエンテーリング科」の基本テーマとして「人間」が構想されています。複雑で問題の多い現実社会を「堅実な市民」として生きていけるように、いかに「オリエンテーリング」(道案内)していくかが教育の課題というわけです。現代社会の抱える緊急の課題は、「高齢者」「ハンディキャップのある人」とどまらず、女性、子ども、外国人、非行、ドラッグ常用者等、多様です。これらは、いずれも差別され、社会的「弱者」に陥りやすい構造にあります。

『わたしのせいじゃない』が、こういった背景を得て登場していることを知っておいていただければと愚考した次第です。

### 新人紹介 パート②

#### 青山 正

Q:好きなものは?

A:さんま。やきそば。福田直美ちゃん(!)

Q:どんなことがしたい?

A:プールと動物園に行きたい。

Q:一言どうぞ。

A:みんな、どうもありがとう!



#### 山本 由紀子

私は、①「年中仮装大会」と言われることがある  
②無口な人だと言われることがある ③しゃべりすぎ  
と言われることがある ④「念力使えそう」と言われ  
たことがある ⑤ガイドヘルパー担当者である・・・  
という人です。

一度パンジーにきて私を捜してみましよう。ちなみにガイドヘルパーの申し込みをすれば会えるからね。

(新人紹介は次号につづく・・・)



## パンジーバスの運転 ありがとう辻本さん



おとどしの6月から2年ちょっとあまり、パンジーのメンバー約半分の「足」であるパンジーバスの運転をしていていた辻本義雄さんが、運転席を降りることになりました。

いつもパンジーにいて、昼食は必ずみんなと一緒に、庭や畑を手入れしたり、旅行やお祭りにも参加、ときには中華料理人になって厨房に入り“こんなおいしいぎょうざ知らん!”というくらいおいしいぎょうざを作ってみなを喜ばせてくれました。その辻本さんに、今までを振り返っての気持ちを少し話してもらいました。



振り返ってと言われると……一番最後にやめる時点で、自分の人生でこれが最後のしめくりやったわなあ。仕事するんやったら、今までで一番良かったなと思うんです。いろいろな商売とかしましたけど、そう思ってますよ。

パンジーの中で一番仲良くして心に残るのは、梅原くんと一男くんやねえ。(※梅原くんとは昼食を一緒に食べて、野球の話にいつも花が咲いていた。一男くんはバスのお手伝いをしていた)というのは、家にも障害を持った娘と息子がいるからね。今、西宮の「すばる舎」におる。今までやったら家のことしか見えなかったけど、ここに来て広がった。

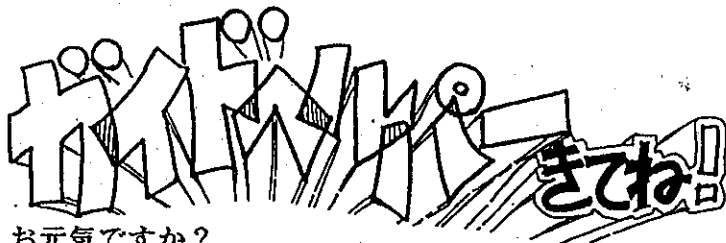
これからは、近所でボランティアをしようと思っている。障害者ばかりに目を向けんと、老人の方へ行こうと思う。まだ体力あるから入浴とか車椅子押ししたり。

それから、自分の趣味やけど詩吟と氣功をやろうと思っている。家内は書道と俳句やっててなあ。わし、字を勉強しようと思うんや。最近アルファベットをやっと覚えたわ。(笑)

実際の歳よりも50歳は若く感じられるほどの「気」を、これからも持ち続けて下さいね。みんなで、そう願っています。

(にっしょん)





みなさん、お元気ですか？

私たち、パンジーのメンバーは相変わらず元気いっぱい。みんな出かけるのが大好きです。

秋は行楽に絶好の季節。毎月第1・第3土曜日の恒例の外出活動をとっても楽しみにしています。

ところで、

パンジーでは、メンバーと一緒に外出してヘルプする人  
＝「ガイドヘルパー」として活動してくれる人を募集中。

現在も毎月の外出やその他にも行事の時にはたくさんのガイドヘルパーさんに参加してもらってます。(ありがとう！)

パンジーにきてくれるヘルパーさんは、今のところほとんどが女性です。だから男性にも、もっと参加してもらえたら……ううん、正直な話、パンジーのメンバーは男性の方が多いので、

男性のヘルパーさんが少なくて困っているのです。どうか力になって下さい。参加できない方も参加できそうな方を紹介して下さい。うれしいです。

もちろん女性の方もどんどご参加下さい。事前にかんたんな面接をして活動の内容などを説明します。どうぞ一度お電話下さいね。

活動日程 (11月分)

- 11月 3日 (金) : 「四天王寺ワッツ」を見に行く  
☆アジア・古代日本の民族衣装  
行列・出店等をまわる
- 11月18日 (土) : 長居スポーツセンターで各自  
好きなスポーツを楽しむ

連絡先 : 「パンジー」 Tel 0729-63-8818・Fax 0729-63-8825

☆面接日の指定できます。ご都合のよい日にどうぞ (担当 山本)

**書き損じハガキ、切手を待っています!** ご家庭や会社などで、書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力お願いします。

**ご協力ありがとうございます**

- <後援費を振り込んでいただいた方> (敬称を略させていただきます)  
アトリエ・ホロニカ 吉田和子 石毛鉄子 錦見はま 田中 誠 奥野 努  
坂本吉章 大槻小浪 墳下千里 久保田卓 中林恵子 安積遊歩 岩佐フミ子  
竹川節子 石崎邦彦 広川典子
- <書き損じハガキをお送りいただいた方>  
平石満彦 岩佐フミ子 北村美智子 柏田勝幸 石橋清子 二文字理明
- <カンパ 寄付をいただいた方>  
谷川伸男 三崎純夫 磯島秀樹 磯島秀美 道官敬子 橋本幸子 三崎令子
- <メンバーが全国へ飛び出すためのカンパをいただいた方>  
伊藤康三 柳 久子 久保田卓
- <南部地震への支援金をいただいた方>  
水野由美子 竹川節子

**兵庫県南部地震への支援の為の情報**

被災した障害者作業所・事業所などの**再建のために支援金**を集めています。阪神大震災障害者救援本部を通じて、被災地の障害者団体に送ります。(振り込み用紙の記入欄に「支援金」とご記入ください)

**メンバーが全国へ飛び出すためにカンパをお願いします**

全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。少しでもメンバーの負担を軽くするためにぜひ、カンパをお願いします。

バンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	

クリエイティブハウス「バンジー」

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8  
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818  
“バンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会  
大阪市城東区東中浜2-10-1-3  
緑橋グリーンハウス・F1F2 企画気付